



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL http://www.kose.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	160,996	11.3	30,712	30.9	32,610	36.2	22,214	46.0
2018年3月期第2四半期	144,615	15.0	23,467	25.5	23,940	36.1	15,212	51.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 21,645百万円 (30.6%) 2018年3月期第2四半期 16,572百万円 (154.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	389.42	—
2018年3月期第2四半期	266.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	284,006	215,138	70.3	3,502.22
2018年3月期	270,370	198,607	68.1	3,227.07

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 199,779百万円 2018年3月期 184,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	63.00	—	85.00	148.00
2019年3月期	—	85.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	7.1	56,000	15.7	57,400	18.3	38,300	25.1	671.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）高絲化粧品有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	60,592,541株	2018年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	3,548,970株	2018年3月期	3,548,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	57,043,634株	2018年3月期2Q	57,044,064株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

当第2四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）

セグメントの名称	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	107,304	74.2	121,461	75.4	14,156	13.2
コスメタリー事業	36,174	25.0	38,172	23.7	1,998	5.5
その他	1,135	0.8	1,361	0.9	225	19.9
売上高計	144,615	100.0	160,996	100.0	16,380	11.3

区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	23,467	16.2	30,712	19.1	7,245	30.9
経常利益	23,940	16.6	32,610	20.3	8,670	36.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,212	10.5	22,214	13.8	7,001	46.0

① 概況

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）における日本経済は、豪雨や地震、台風など相次ぐ自然災害の影響を受けたものの、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に緩やかな景気回復の基調が続きました。化粧品業界におきましては、2018年度の経済産業省化粧品出荷統計（暦年）によりますと、販売個数・販売金額ともに前年と比べ増加しました。また、海外において、当社グループが主に事業展開をしているアジア・米国経済につきましては、米国では着実な景気回復が続き、アジアでは総じて持ち直しの動きが見られました。

このような市場環境の中、当社グループは、今期より新たな中期経営計画「グローバルブランド拡充と顧客接点の強化」をスタートさせ、企業の成長を支える強い経営基盤をベースとしながら、そのリソースを最大限に活用し、独自の価値創造を絶えず行っていくことにより、グローバルかつボーダレスな成長を目指してきました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、全セグメント及び全ての地域において前年を上回り、売上高は前年同期比11.3%増の160,996百万円（為替の影響を除くと前年同期比11.6%増）となり、第2四半期としては過去最高を6期連続で更新しました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は26.4%となりました。

利益につきましては、重点グローバルブランドを中心とした増収効果に加え、原価低減、販売費及び一般管理費の効率的な運用により、営業利益は30,712百万円（前年同期比30.9%増）、経常利益は32,610百万円（同36.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,214百万円（同46.0%増）となり、いずれも過去最高となりました。

② セグメント別の状況

(a) 化粧品事業

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	107,304	121,461	14,156	13.2
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	107,304	121,461	14,156	13.2
営業利益	百万円	21,675	28,647	6,971	32.2
営業利益率	%	20.2	23.6	—	—

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域、プレステージ領域いずれも好調に推移しました。ハイプレステージ領域におきましては、当社初のシワ改善美容液「iP.Shot アドバンスト」（医薬部外品）を発売した「コスメデコルテ」が業績を牽引したほか、専門店チャンネルへの新業態提案を推進した㈱アルピオン、北米市場を中心にメイク製品等を展開する米国タルト社なども売上が伸長しました。プレステージ領域におきましては、国内では、薬用美白美容液「メラノショット ホワイト」（医薬部外品）が好調な高効能特化型ブランド「ONE BY KOSÉ」、中価格帯の新スキンケアブランド「ルシェリ」などが売上に寄与しました。海外では、アジア市場において重点グローバルブランドの販売が好調な韓国と中国が業績を牽引しました。また、国内外における免税チャンネルの売上も大幅に増加しました。これらの結果、当事業の売上高は121,461百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は28,647百万円（同32.2%増）となりました。

(b) コスメタリー事業

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	36,174	38,172	1,998	5.5
セグメント間の売上高	百万円	187	487	299	159.9
売上高計	百万円	36,362	38,659	2,297	6.3
営業利益	百万円	3,575	4,152	576	16.1
営業利益率	%	9.8	10.7	—	—

コスメタリー事業につきましては、洗顔・クレンジングの「ソフティモ」、シートマスクの「クリアターン」、ボタニカルヘアケアシリーズ「サロンスタイル ビオリス」など、カテゴリーNo.1戦略を掲げるコーセーコスメポート㈱の主要ブランドが好調に推移したことに加え、アイカラーパレットの限定商品が好評だったセルフメイクブランド「ヴィセ」などが売上を拡大しました。これらの結果、当事業の売上高は38,172百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は4,152百万円（同16.1%増）となりました。

(c) その他

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	1,135	1,361	225	19.9
セグメント間の売上高	百万円	331	371	40	12.1
売上高計	百万円	1,467	1,733	265	18.1
営業利益	百万円	565	745	180	31.8
営業利益率	%	38.6	43.0	—	—

その他の事業につきましては、アメニティ製品等の販売が増加した結果、売上高は1,361百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は745百万円（同31.8%増）となりました。

③ 地域別売上高（外部顧客に対する売上高）の状況

	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	110,893	76.7	118,541	73.6	7,648	6.9
アジア	15,402	10.6	23,249	14.4	7,847	51.0
北米	16,931	11.7	17,497	10.9	565	3.3
その他	1,388	1.0	1,707	1.1	318	23.0
売上高計	144,615	100.0	160,996	100.0	16,380	11.3

<日本>

日本市場につきましては、一部で豪雨・地震・台風などの自然災害による影響があったものの、主要な販売チャネルでプラス成長となりました。特に、ハイプレステージ領域のブランドを中心に展開する百貨店チャネルにおいては、高付加価値ブランド「コスメデコルテ」が国内のお客さまづくりを推進したことに加え、インバウンド需要も増加するなど、大幅に伸ばしました。また、プレステージ領域及びコスメタリー事業のブランドを中心に展開するドラッグストアチャネルやGMSチャネルにおきましても、新スキンケアブランド「ルシェリ」の導入効果に加え、高効能特化型ブランド「ONE BY KOSÉ」やメイクブランド「ヴィセ」、コーセーコスメポート㈱が展開する主要ブランドなどが好調に推移しました。これらの結果、売上高は118,541百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

<アジア>

アジア市場につきましては、高付加価値ブランド「コスメデコルテ」や和漢植物成分配合のスキンケアブランド「雪肌精」を中心とした重点グローバルブランドが牽引役となり、各国における既存チャネルの育成とともに、免税店やEコマースなど新規チャネルの開拓を推進するなど、顧客接点の強化に取り組み、事業展開しているほぼ全ての国と地域でプラス成長となりました。特に、免税チャネルの高成長が継続した韓国、Eコマースの成長著しい中国が好調に推移しました。これらの結果、売上高は23,249百万円（同51.0%増）となりました。

<北米>

北米市場につきましては、米国メイク市場における競争激化等の影響があったものの、米国タルト社による専門店チャネル及びEコマースでの販売が安定的に成長した結果、売上高は17,497百万円（同3.3%増）となりました。

<その他>

その他の地域につきましては、米国タルト社による欧州や豪州でのEコマース等の販売が好調だった結果、売上高は1,707百万円（同23.0%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月31日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,637	93,614
受取手形及び売掛金	41,403	39,025
有価証券	8,274	4,567
商品及び製品	29,260	31,458
仕掛品	2,407	3,180
原材料及び貯蔵品	19,271	23,215
その他	2,913	2,759
貸倒引当金	△48	△76
流動資産合計	187,119	197,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,813	40,216
減価償却累計額	△20,961	△20,750
建物及び構築物（純額）	16,852	19,466
機械装置及び運搬具	16,078	16,384
減価償却累計額	△12,251	△12,061
機械装置及び運搬具（純額）	3,827	4,323
工具、器具及び備品	36,164	37,733
減価償却累計額	△30,357	△30,847
工具、器具及び備品（純額）	5,806	6,885
土地	16,555	16,549
リース資産	1,932	1,927
減価償却累計額	△1,314	△1,352
リース資産（純額）	618	574
建設仮勘定	4,351	1,647
有形固定資産合計	48,011	49,447
無形固定資産		
ソフトウェア	1,563	1,608
のれん	7,629	7,056
その他	7,190	7,325
無形固定資産合計	16,383	15,990
投資その他の資産		
投資有価証券	10,381	12,368
繰延税金資産	5,872	5,514
その他	2,850	3,187
貸倒引当金	△247	△247
投資その他の資産合計	18,856	20,822
固定資産合計	83,250	86,260
資産合計	270,370	284,006

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,534	9,300
電子記録債務	15,849	20,074
短期借入金	600	600
リース債務	227	223
未払金	13,725	8,731
未払費用	9,423	9,410
未払法人税等	7,865	7,144
未払消費税等	1,872	1,080
返品調整引当金	1,928	1,921
その他	1,767	1,615
流動負債合計	62,793	60,101
固定負債		
リース債務	484	452
役員退職慰労引当金	2,513	2,711
退職給付に係る負債	4,952	4,291
繰延税金負債	25	—
その他	993	1,312
固定負債合計	8,969	8,767
負債合計	71,763	68,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
利益剰余金	180,514	197,879
自己株式	△9,098	△9,102
株主資本合計	176,263	193,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,651	4,365
為替換算調整勘定	4,098	1,687
退職給付に係る調整累計額	70	100
その他の包括利益累計額合計	7,820	6,153
非支配株主持分	14,523	15,359
純資産合計	198,607	215,138
負債純資産合計	270,370	284,006

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
売上高	144,615	160,996
売上原価	39,403	40,799
売上総利益	105,211	120,196
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,697	9,257
販売促進費	25,636	27,373
運賃及び荷造費	5,469	6,742
給料及び手当	22,184	24,315
退職給付費用	961	629
法定福利費	3,436	3,611
減価償却費	1,461	1,812
その他	13,896	15,742
販売費及び一般管理費合計	81,743	89,483
営業利益	23,467	30,712
営業外収益		
受取利息	95	176
受取配当金	41	103
特許実施許諾料	17	20
有価証券償還益	2	—
為替差益	240	1,420
雑収入	121	272
営業外収益合計	519	1,992
営業外費用		
支払利息	3	1
支払手数料	25	6
投資事業組合運用損	—	54
雑損失	16	31
営業外費用合計	46	94
経常利益	23,940	32,610
特別利益		
固定資産売却益	1	8
投資有価証券売却益	0	1
関係会社株式売却益	—	925
特別利益合計	2	935
特別損失		
固定資産処分損	55	289
その他	1	—
特別損失合計	57	289
税金等調整前四半期純利益	23,884	33,256
法人税、住民税及び事業税	8,158	9,841
法人税等調整額	△1,072	77
法人税等合計	7,085	9,919
四半期純利益	16,799	23,337
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,586	1,123
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,212	22,214

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
四半期純利益	16,799	23,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	904	714
為替換算調整勘定	△1,349	△2,444
退職給付に係る調整額	217	38
その他の包括利益合計	△226	△1,691
四半期包括利益	16,572	21,645
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,012	20,546
非支配株主に係る四半期包括利益	1,560	1,098

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった高絲化粧品有限公司の持分をすべて譲渡したことに
より、高絲化粧品有限公司は当社の特定子会社に該当しないこととなり、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲
から除外しております。

なお、持分譲渡終了時までの損益計算書については連結しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会
計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区
分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	107,304	36,174	143,479	1,135	144,615	—	144,615
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	187	187	331	518	△518	—
計	107,304	36,362	143,666	1,467	145,134	△518	144,615
セグメント利益	21,675	3,575	25,250	565	25,816	△2,348	23,467

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品
事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	79
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,428

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研
究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
110,893	15,402	16,931	1,388	144,615

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	121,461	38,172	159,634	1,361	160,996	—	160,996
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	487	487	371	858	△858	—
計	121,461	38,659	160,121	1,733	161,854	△858	160,996
セグメント利益	28,647	4,152	32,799	745	33,544	△2,832	30,712

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	59
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,891

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
118,541	23,249	17,497	1,707	160,996